

会社説明会

～平成28年3月期 第2四半期～

Yamagata

Miyagi



じもと
HOLDINGS



きらやか銀行



仙台銀行

平成27年12月

1.平成28年3月期第2四半期決算の状況

- ① じもとホールディングスの業績について … 1
- ② きらやか銀行の業績について … 2
- ③ 仙台銀行の業績について … 3

2.両行における取組みについて

- ① 仙台銀行のトピックス
 - ～「本気の本業支援」への取組み～ … 4
 - ～地方創生の取組み～ … 7
 - ～震災復興・地域活性化・社会貢献活動の取組み～ … 8
- ② きらやか銀行のトピックス
 - ～本業支援の取組み～ … 9
 - ～営業体制の刷新～ … 11
 - ～じもと山形、地域の皆様を応援～ … 12
 - ～with Smile! きらやかスマイルプロジェクト～ … 13

3.じもとホールディングスの取組みについて

- ① じもとホールディングスの取組み … 14
- ② じもとホールディングスのトピックス … 15
- ③ じもとホールディングスの内部管理態勢 … 16



1. 平成28年3月期第2四半期 決算の状況

①じもとホールディングスの業績について

① 損益の状況

	26年9月期	27年9月期	前年同期比
連結経常収益	212億42百万円	<u>218億89百万円</u>	+6億47百万円
連結経常利益	34億41百万円	<u>32億58百万円</u>	△1億83百万円
親会社株主に帰属する 中間純利益	34億50百万円	<u>32億93百万円</u>	△1億56百万円

- 連結経常収益は、前年同期比増加
- 連結経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比減少

【2行合算】	26年9月期	27年9月期	前年同期比
コア業務純益	36億26百万円	45億95百万円	+9億69百万円
経常利益	30億89百万円	28億69百万円	△2億20百万円
中間純利益	31億18百万円	25億97百万円	△5億20百万円

- コア業務純益は、資金利益が増加したことや、物件費が減少したことなどにより前年同期比増加
- 経常利益・中間純利益は、与信関係費用の増加などにより、前年同期比減少

② 業績予想及び配当方針

	平成28年3月期	(参考) 平成27年3月期 実績
連結経常利益	<u>36億円</u>	67億51百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	<u>35億円</u>	59億86百万円

- じもとホールディングス連結の平成28年3月期の業績予想は、経常利益が36億円、親会社株主に帰属する当期純利益が35億円を見込んでおります。

基準日	中間	期末	年間
配当予想	<u>2円50銭</u>	2円50銭	5円00銭
(参考)平成27年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

- 配当方針につきましては、平成28年3月期中間配当を1株あたり2円50銭とさせていただきます。
- 期末配当につきましても1株あたり2円50銭、年間で5円を予定しております。

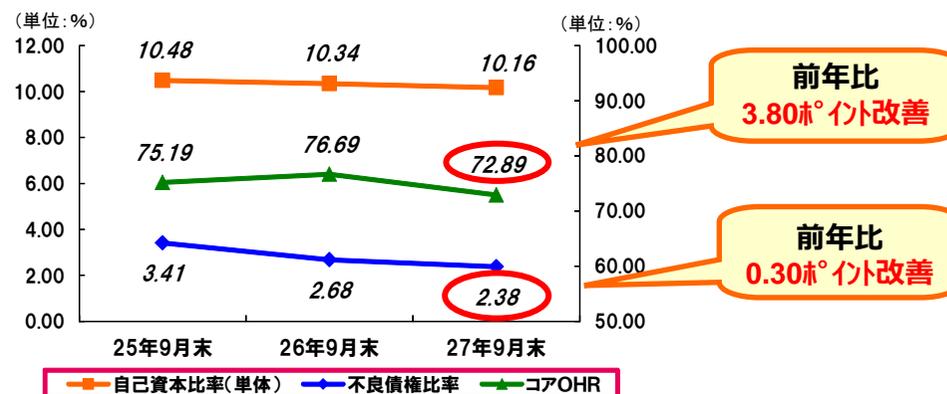
②きらやか銀行の業績について

① 損益の状況

	25年9月期	26年9月期	27年9月期	前年同期比
経常収益	121億77百万円	121億96百万円	126億75百万円	+4億78百万円
コア業務純益	24億72百万円	22億95百万円	28億83百万円	+5億88百万円
経常利益	14億79百万円	11億63百万円	15億21百万円	+3億58百万円
中間純利益	13億66百万円	9億59百万円	13億59百万円	+4億円

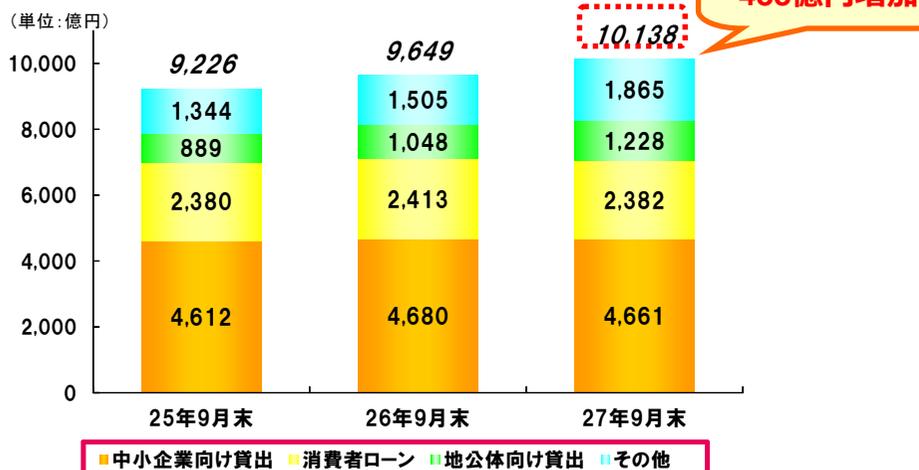
- コア業務純益は、資金利益の増加や物件費の削減などにより前年同期比増加。
- 経常利益は、コア業務純益の増加などにより前年同期比増加。

② 主な経営指標



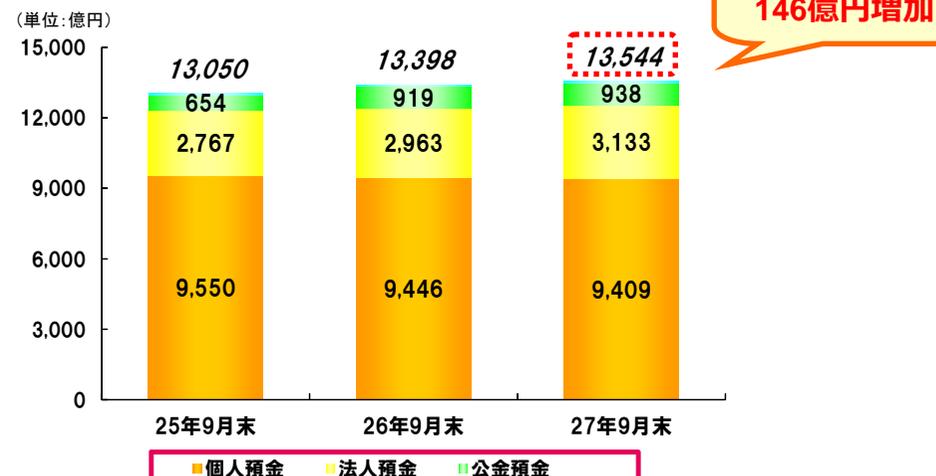
- 不良債権比率は、組織的かつ積極的な経営改善支援の実施により改善。
- コアOHRは、コア業務粗利益の増加などにより改善。

③ 貸出金の状況



- 市場性ローンや地公体向けの貸出が増加したことにより、前年比488億円増加。

④ 預金の状況



- 個人預金は、定期預金の減少などにより前年比37億円減少。
- 法人預金は、流動性・定期性ともに増加したことにより前年比169億円増加。

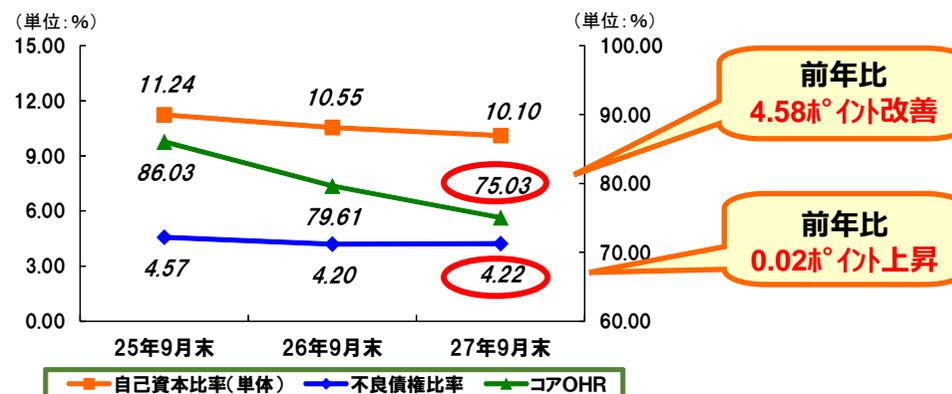
③ 仙台銀行の業績について

① 損益の状況

	25年9月期	26年9月期	27年9月期	前年同期比
経常収益	88億95百万円	85億76百万円	85億9百万円	△66百万円
コア業務純益	9億6百万円	13億30百万円	17億11百万円	+3億80百万円
経常利益	19億43百万円	19億25百万円	13億47百万円	△5億78百万円
中間純利益	18億84百万円	21億59百万円	12億38百万円	△9億21百万円

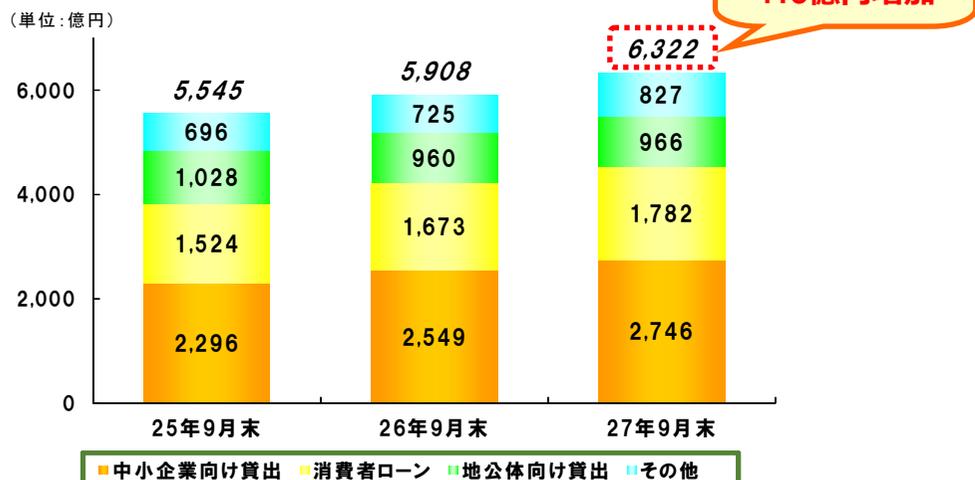
- コア業務純益は、資金利益の増加や物件費の減少等により前年同期比増加。
- 経常利益は、与信関係費用の増加から前年同期比5億円減少。

② 主な経営指標



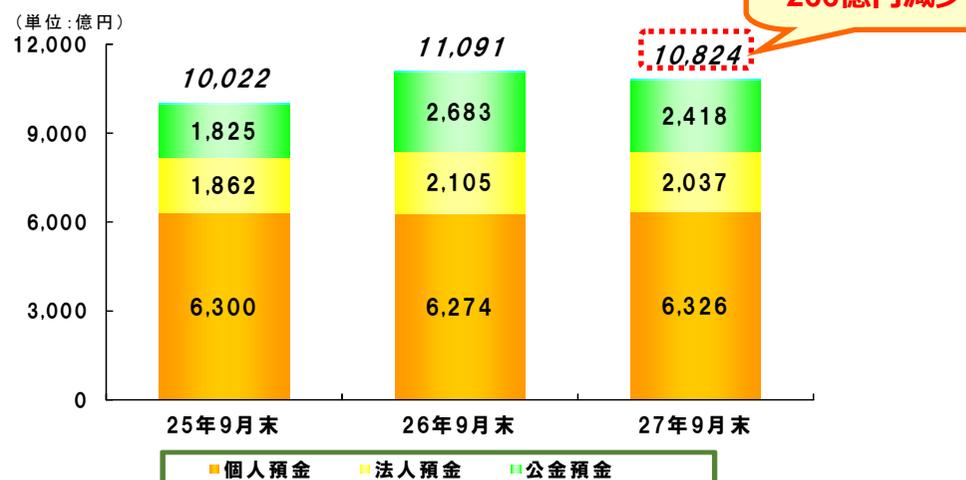
- 不良債権比率は、保守的に査定を実施したことにより上昇。
- コアOHRは、コア業務粗利益の増加などにより改善。

③ 貸出金の状況



- 中小企業向け貸出は、復興支援に係る様々な資金需要への対応により、前年比196億円増加。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により前年比108億円増加。

④ 預金の状況



- 個人預金は、前年比52億円増加。
- 法人預金は、前年比67億円減少。
- 公金預金は、復興の進展に伴う資金需要から前年比265億円減少。

2. 両行における取組みについて

平成27年度上期の取組状況



- ① 外部専門家とも連携、「本気の本業支援」を展開
- ② 「情報提供・提案」後にアフターフォロー徹底
- ③ 取引先の経営課題解決をスピードアップ
- ④ 当行職員スキルのレベルアップ



専門家の帯同訪問支援

- よろず支援拠点と
 - その他外部専門家
- 帯同訪問支援

成約 **42** 件

(ご紹介 3,665 件)

成約 **252** 件

(ご紹介 276 件)

主な支援実績

- 事業承継
 - M&A支援
- 診断サポート

成約 **428** 件

(ご紹介 2,587 件)

成約 **2** 件

(ご紹介 13 件)

専門家ネットワークの充実

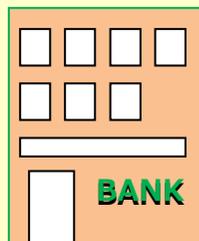
中小企業等お取引先のニーズ

事業承継 M & A 販売戦略 財務戦略 人材育成

課題解決を支援

仙台銀行&じもとHD

- 農業経営アドバイザー
- 水産業経営アドバイザー
- 中小企業診断士
- 不動産鑑定士
- 医療経営士等



連携

外部専門家

- 宮城県よろず支援拠点
 - 起業・創業
 - 売上拡大
 - ものづくり
 - IT活用
 - WEB企画
 - 事業再生
- 弁護士
- 公認会計士
- 税理士

1
アクティブリスニング
経営課題把握

▲ 大手業者が参入、売上高減少

▲ 商品デザイン、販路の見直し



2
最適な専門家
アレンジ

Web企画
デザイン専門家

製造業専門家

仙台銀行

3
提案
アドバイス

大手ネット販売
固定費回収できない

弱み
克服

◎ 自社ホームページ見直し！
通販システムを再構築

4
アフターフォロー

商談のサンプル試食
印象が弱い

◎ 自社商品をもっとアピール！
説明書を準備・添付

◆**東北大学 経済学部で本業支援を講義**



東北大学経済学部「地域財務金融行政論」で
当行職員が本業支援の取組みを講義。

◆**東北学院大学 と地域人材育成で連携**



東北学院大学と県内主要大学等が実施する
地域人材育成プログラムに参画。

地元大学
と連携

地方創生の
取組み

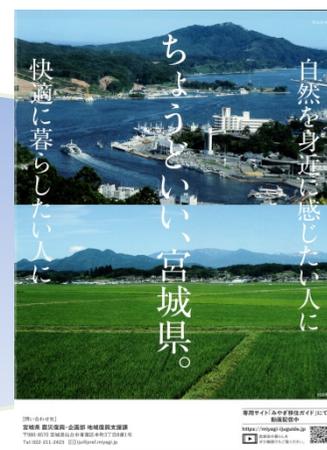
地方自治体
と連携

◆**石巻市 創業ビジネスグランプリ協賛**



石巻市連携会議「ビジネスグランプリ」に協賛、
当行職員がビジネスモデル選定の審査員で参加。

◆**みやぎ 移住・定住推進県民協議会議参画**



首都圏からの宮城県内への移住を推進する
宮城県のプロジェクトに地元銀行として参画。

歌津支店
平成28年4月開店予定



津波被災地へ
店舗を新築・再出店

荒井支店・南小泉支店
平成28年5月開店予定



★マイナンバー対策セミナー開催



制度開始、直前。
実務に活かせる内容と好評

★宮城の復興住民活動を支援



仙台銀行まちづくり基金へ5千万円を追加信託

★相続法改正、対策セミナー開催



相続税法改正について各専門家が解説。

★高齢者向けドクターサービス開始



当行年金受給者（予定も含む）に
「セコム・マイドクタープラス」をご紹介。

きらやか銀行の **本業支援**

➤ 全行員による組織的・継続的（H21.10～）活動

➤ 専門家集団による高度な本業支援

平成27年度上期の取組状況

お客様の事業ニーズ件数 1,867件
 本業支援成約件数 1,288件
 うち販路拡大先 602件

お客様の売上増加額（230先）

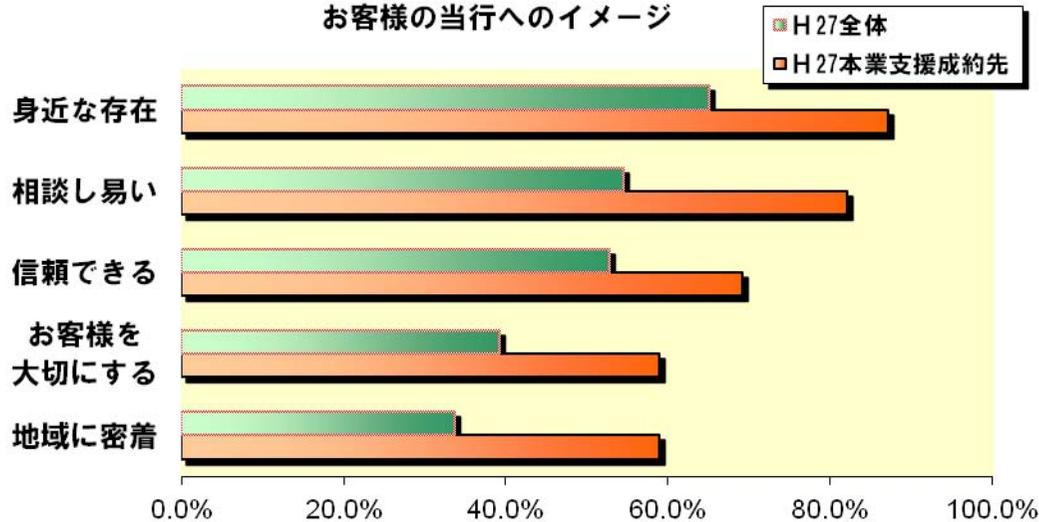
8.8億円

M & A・事業継承件数 33件
 生産性向上・社員研修 7件
 補助金申請支援 27件、2.4億円

➡ 本業支援を実施した結果・・・

**本業支援を実施した
 多くのお客様より
 お喜びいただいております。**

お客様の当行へのイメージ

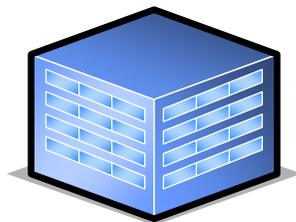


	身近な存在	相談し易い	信頼できる	お客様を大切にしている	地域に密着
H27全体	65.1%	54.6%	52.8%	39.3%	33.7%
H27本業支援成約先	87.2%	82.1%	69.2%	59.0%	59.0%

地域貢献に関連した本業支援

地元が抱える課題

- ・ 震災以降、観光客数が低迷
- ・ 十分な駐車場スペースの確保



(株)明友様【菓子製造販売業】

(株)明友様の事業ニーズ

自社の遊休資産を活用して、
地元の抱える課題を解決したい

本業支援

補助金採択へ事業計画策定を支援

さらに

経済産業省の専門家派遣事業を
活用し、万全の体制で支援

『地域経済循環創造事業交付金』採択決定

地域経済循環創造事業交付金の実績
全国 241事業 80.9億円 (H27.9.8現在)
※総務省HPより

本業支援のKey Point

- ① 事業ニーズへの素早い行動
- ② 本支店一体となったサポート体制
- ③ 外部の専門家機関の活用



H27.10.18 山形新聞

尾花沢・銀山温泉

尾花沢市の銀山温泉西側に、市内の菓子製造・販売の老舗明友(西塚義治社長)が建設を進めていた「銀山温泉観光センター「大正ろまん館」が完成し17日、同市上柳渡戸の現地でテープカットが行われた。大型駐車場やトイレを備えた観光物産

観光センター「大正ろまん館」完成

施設で、西塚社長は「銀山温泉には付近に駐車スペースが観光客用のトイレがなかった。観光関係者からの長年の要望に応えた」と話している。観光センターの建設は西塚社長が約4年前から用地を取得するなど計画してきたもので、総務省や市の支援を得て、11月6日に着工した。敷地面積は約8500平方メートル。和洋菓子販売所やレストランがあるろまん館(約360平方メートル)と、身体障害者の利用に対応した休憩室付きのトイレ(約100平方メートル)の2施設(ともに木造平屋)からなる。約4

物産販売◆飲食店◆駐車場100台分

千平方メートルの駐車場は観光バスを含め約100台分の車を収容可能。建物は「大正ロマンをイメージしたデザイン。地元から新たに7人を雇用した。総事業費は約1億7千万円。式には約50人が出席。西塚社長のあいさつに続き加藤国洋市長、加賀正和県議らが祝辞を述べ、関係者がテープカット。会場には地元住民や観光客が早速詰め掛け、施設を見学して商品を買っていった。西塚社長は「さらに産直施設などの増設を進め、防災ヘリポートとしても使えるように整備を進めていきたい」と話していた。ろまん館の営業時間は午前8時から午後6時まで。年中無休。問い合わせはろまん館02377(303)6727。

第4次中期経営計画の基本理念

「**本気の本業支援**」 (= 「『お客様から真に喜ばれる』本業支援」)

- ◆**本業支援部の設立**
 - **本業支援部門と中小企業融資部門を融合し、本業支援・中小企業融資・職域取引推進の一体化とサービスの充実を図る。**
- ◆**山形法人グループの新設**
 - 仙台地区における法人営業専門部隊のノウハウを持った人材を**精鋭部隊**として編成し、**山形にて積極推進**を図る。
- ◆**「戦略チーム」の新設**
 - 高度なノウハウを持った専門家（公認会計士等）を中心とした**課題解決のスペシャリスト集団**を設置。
- ◆**店舗統廃合**
 - 効率化による、**お客様へ向き合う人員と時間の創出**

きらやか銀行は26日までに、中小企業との取引拡大に当たる行員を増員するため、店舗の統合や組織再編を行う方針を固めた。10月1日付で200人規模の人事異動を実施し、近く正式に発表する見通しだ。

同行によると、本年度内に6店舗程度を他の支店に統合するが、フロンティア（フランチ）店舗内店舗形式による移転のため、通帳の変更などは必要ないという。このうち、12月中に山形市の東田支店を中央営業部に、酒田市の酒田北支店を酒田支店内に移転する計画で、本部組織の再編と合わせて顧客支援に当たる人員を確保する。

きらやか銀行「本業支援」を強化 店舗統合や組織再編へ

本部組織は「本業支援推進部」「営業推進部」「仙台法人営業部」の3部を本業支援部として一体的に推進する。人員は3部合計より十数人程度増やす見込み。

本業支援部内には法人戦略室と法人営業室を設ける。このうち、法人営業室内には山形法人グループと仙台法人グループを設置し、**山形・宮城両県内の取引拡大や企業支援に注力**する。

金融庁は現在、地域に對し、貸出先企業の将来性や事業内容を重視して融資を決める「事業性評価」の推進を求めている。こうした背景から、同行はさらに本業支援に特化した体制に刷新することを決めた。

H27.9.27 山形新聞

より多くのお客様と向き合い、
より高度な提案をお客様に提供する

「**本気の本業支援**」

「**お取引企業の喜び**」
+
「**企業の社員の皆様の喜び**」

3. じもとホールディングスの取組みについて

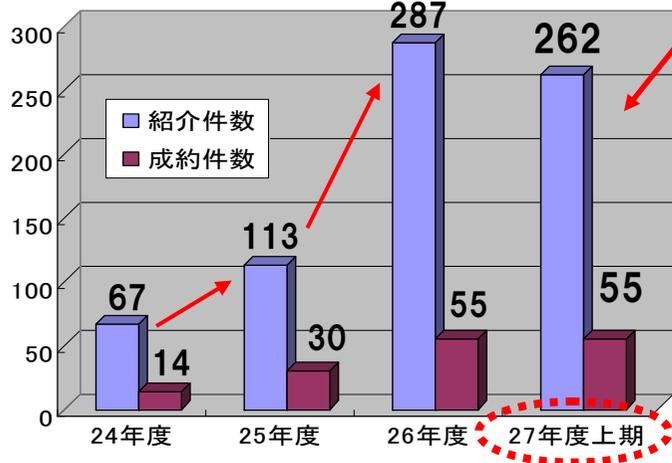
①じもとホールディングスの取組み

じもとグループは「**本気の本業支援**」により、**宮城と山形を強力につないでまいります！**

1. 本気の本業支援(本業支援の進化・発展)

組織的な本業支援の更なる強化
県境を越えた情報の集約と提供

ビジネスマッチングの実績



今年度は、紹介件数、成約件数共に昨年度の倍のスピードで実績が増加！

平成27年度 実績	ビジネスマッチング		
	合計	うち「宮城と山形をつなぐ運動」実績	うち商談会等実績
紹介件数 (うち成約件数)	262 (55)	105 (18)	157 (37)

※「宮城と山形をつなぐ運動」⇒両行を跨いだビジネスマッチング

主な商談会の内訳

商談会の名称	開催回数	面談件数	うち成約件数
地方創生ミニ商談会(山形)	3回	53件	23件
伊達な商談会(宮城)	6回	42件	3件
地方創生『食の魅力』発見商談会2015(東京)	1回	41件	—
その他(個別商談等)	—	21件	11件
合計	10回	157件	37件

2. 本気の統合効果発揮(経営の合理化・効率化)

業務運営の統一
システムの統一

平成27年5月 両行の基幹系システムを統一
平成27年9月 サブシステム統一に向けた方針決定
⇒今後、**総数81のサブシステムについて、詳細スケジュールを策定し統一作業を実施**



②じもとホールディングスのトピックス

地元企業の成長を応援、じもと創生本業支援ファンドを組成

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成27年10月に日本政策投資銀行と「じもと創生本業支援ファンド」（10億円）を新たに組成いたしました。

このファンドは、地元の中堅・中小企業のお客さまが新規事業へ進出、あるいは事業拡大に向けて財務基盤を強化するなど事業成長に取り組むにあたり、優先株式や劣後ローン等の成長資金を提供するものであり、地元企業の成長発展と地域雇用の創出を支援してまいります。

じもとホールディングス テレビCM「あしたへつなぐ篇」制作

じもとホールディングスは、じもとグループの新しいイメージテレビCM「あしたへつなぐ篇」を制作し、平成27年10月から宮城県と山形県で放送しております。

今回のCMでは、宮城県沿岸部の水産業者と山形県の小売業者をつないだ当グループのビジネスマッチングの実例をご紹介します。本業支援を通じて両県の「人・情報・産業」をつなぎ、地域経済の復興と創生に貢献していく当グループの長期ビジョンをアピールしております。当グループの“想い”を込めたテレビCMをぜひご覧ください。



宮城県へ震災復興寄附金を贈呈

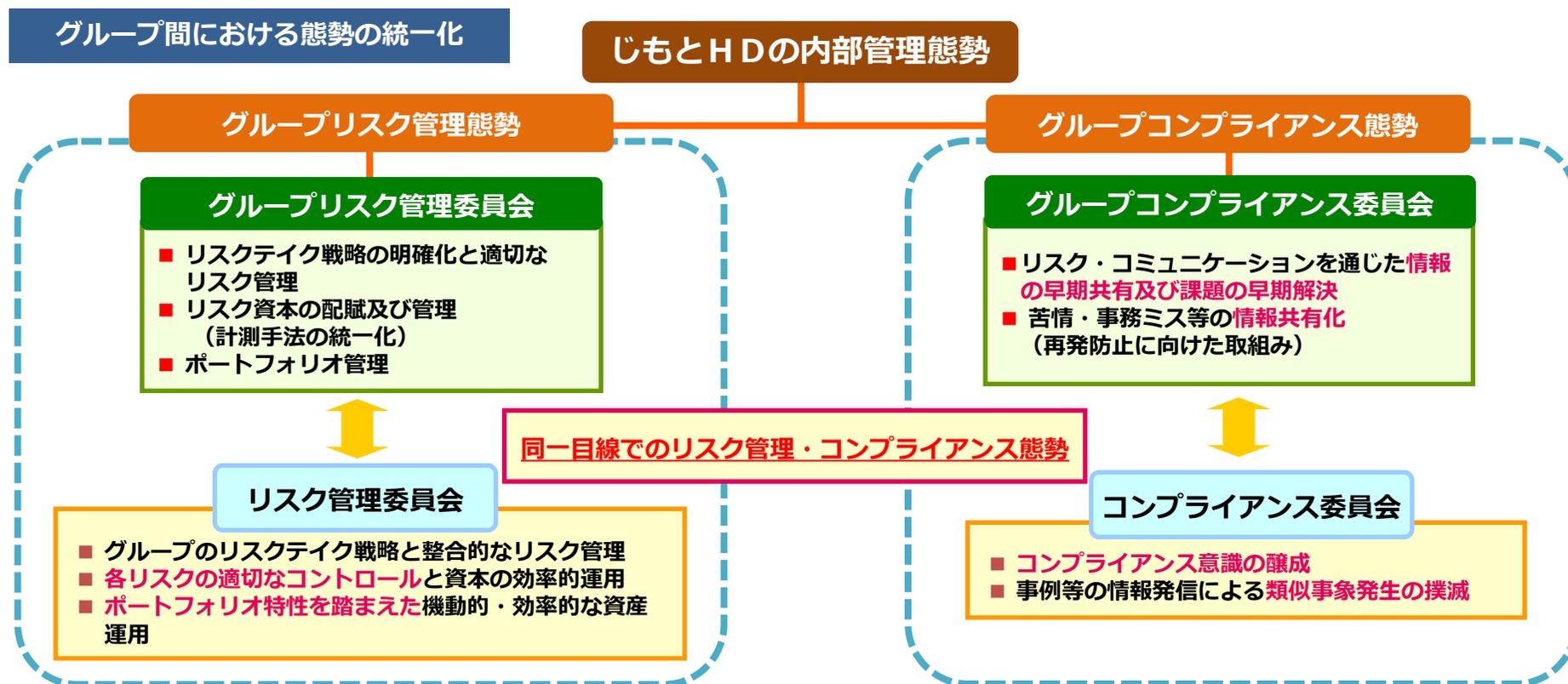
じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成27年10月、宮城県に対し震災復興への寄附金200万円を贈呈いたしました。

この寄附金は、平成27年6月～8月に実施したグループ共同キャンペーン「東北の夏、じもとの夏2015」において、お客さまにお預け入れいただいた定期預金の一定割合を、復興支援金として被災地へ寄附したものです。

今後もじもとグループは、様々な形で、震災復興及び地域経済活性化に貢献してまいります。



③じもとホールディングスの内部管理態勢



リスクアセスメント態勢の構築と機動的な対応

1. リスクアセスメント態勢の構築

- ◆ リスクアセスメント態勢の構築により、グループ態勢上の弱点、問題点等の把握・改善を通じ、業務運営態勢の健全性・適切性を確保する。

2. リスク管理態勢の強化

- ① リスク顕在化事象の早期把握と早期のアラーム発信
- ② リスク・プロフィール分析およびリスク・リターン分析の強化
- ③ 個別リスクにかかるリスク管理態勢の整備

「金融環境の変化に機動的に対応することができる内部管理態勢」の一層の強化に取り組む

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総 合 企 画 部

TEL : 022-722-0011 (代表)

<http://www.jimoto-hd.co.jp>